

長谷エリフォーム 女性社員（ハセジョ）による安全体感教育 実施について

（株）長谷エリフォーム（本社：東京都港区、社長：河合 英樹）は、2017年11月19日、若手社員向けの安全教育活動の一貫として日鉄住金ビジネスサービス鹿島（株）（本社：茨城県鹿嶋市、社長：小松 美裕）の教育事業部テクノプラザにて「第25回 安全体感教育」を実施しました。今回の安全体感教育では、長谷エリフォームの1年次から3年次の女性社員（ハセジョ）9名が“高所危険体感”、“電気危険体感”“玉掛け作業危険体感” など多数のプログラムを受講しました。

「安全体感教育」は、作業に潜む危険を疑似体験又は視覚体験することによって安全（危険）に対する感度を高めようとするもので、疑似体験とはいえ危険な状況を、身をもって体験できることから安全教育の手法として大きな効果が期待されています。

長谷エグループでは、建設作業に従事する作業員が安全に作業できるように、協力会社とタイアップして安全教育を実施し、安全管理を強化してきました。その一環として、（株）長谷エリフォームでは、2012年から「安全体感教育」の受講を推進しています。これまで足場で作業する作業員を中心に、総勢351名が受講を終了しています。

今後も年に6回実施し、協力会社を含めて大規模修繕工事に従事する作業員の安全に対する意識向上を図ってまいります。

【 第25回「安全体感教育」実施概要 】

- 開催日時：2017年11月19日（日）
- 開催場所：日鉄住金ビジネスサービス鹿島（株）教育事業部テクノプラザ
（住所）茨城県鹿嶋市光3番地 新日鉄住金（株）鹿島製鐵所内
- 目的：「実際に危険を体感してもらい安全意識を高める」
- 内容：

高所危険体感（9項目）	玉掛け作業危険体感（4項目）
5m墜落衝撃（タックルバック）体感	吊荷落下危険（ワイヤ切断による吊荷落下）体感
5m墜落衝撃（安全ネット）体感	吊荷落下危険（一本吊りによるワイヤ切断）体感
安全帯（正しい）装着方法実習	手・指挟まれ危険体感
安全帯ぶら下がり（一本吊り）体感	荷振れ衝突され危険体感（重心移動による荷揺れ）
安全帯（正しい）使用方法解説	
高所足場危険（3m足場歩行）体感	電気危険体感（3項目）
飛来落下危険（ハンマー落下衝撃）体感	低圧電気感電危険体感（電線接触）
梯子脚立（正しい）使用方法解説	漏電による感電危険（手持ち電気品漏電）体感
脚立転倒体感	蛸足配線・過電流火災危険体感

- 受講者：長谷エリフォーム 女性社員 9名

6、安全体感教育受講状況 オリエンテーリング風景



低圧電気感電危険体感



漏電による感電危険（手持ち電気品漏電）体感



安全帯ぶら下がり（一本吊り）体感



手指挟まれ危険体感



受講者集合写真



7、プログラムを受講した女性の感想

- ・現場内におけるあらゆる作業には、多くの危険が潜んでいることが分かった。
- ・ハーネスの体験をしたことがなく、思っていた以上に負担が少なく驚いた。
- ・電気体感はとても低い電流でもビリビリと刺激を感じた。
- ・現場におけるルール的重要性を身をもって感じた。改めてルールの意味、重要性を考えた上で、安全の確保に注力したい。